

議会だより

せら



ゴールをめざして

■今号の主な記事

- 補正予算 住宅リフォーム補助可決 …… 2～3
- 報告します 委員会は今 …… 4～6
- 議会報告会・意見交換会 …… 7
- 請願・陳情 提出議案等の結果 …… 8
- ありゃあどうなったかの～ …… 9
- ズバリ 町政の課題 13議員32問を質す … 10～23
- 元気な人紹介 …… 24

No.34 平成25年7月12日発行

メールアドレス gikai@town.sera.hiroshima.jp

ム補助可決 全員賛成

第2回定例会は6月10日から20日までの11日間で開会した。議案9件、報告4件、陳情4件、発議1件が審議された。

当初予算に計上の「住宅リフォーム補助金」が受け付けと同時に予算額以上の申込みがあり、補正予算案が提出され、全員賛成で可決した。

また、東日本大震災復興財源を確保するため、特別職の職員等で常勤の者及び職員の給与を減額する条例が提出され、賛成多数で可決した。

陳情案件は、杭谷氏の彫刻を「寺町公園」へ設置する要望に対し、反対多数で不採択となった。

住宅 リフォーム 補正予算可決

住宅環境の向上と3世代同居の支援目的で、25年度の当初予算に住宅リフォームの補助金450万円が計上された。予想以上に好評で1日目で予算に達したため、第2次として補正予算960万円を追加提案され、議会は全員賛成で可決した。3世代同居を願い、孫と一緒に生活することで子育てができることが目的である。

仮称インフォメーション センターの計画は

広域観光推進実行委員会内にワーキング部会を設け、町と観光協会、商工会、飲食組合などが協議して計画を立てる。「道の駅」の申請を行い、町内の観光消費が増えるように、アンテナショップの導入も考えている。維持管理費は約2500万円を予定。物販、利用料で1500万円の収入を試算しているが、今後協議し方向性が出れば報告する。一般的な「道の駅」のような物販はせず、

宣伝・交流が主体で、物販は期間限定で行いたい。情報を発信し町内の施設の周遊につなげたい。

施設の場所などが新聞報道されたが、議会が意思決定したものはないとこの意見が出た。

町は、3月の全員協議会で説明し、次の産業建設常任委員会に資料を提出し、趣旨・構想的なものは、すでに説明したとの見解である。今後、町の説明を

十分に受け予算措置を決定したい。

広域観光推進実行委員会への県の予算は6225万円で、インフォメーションセンターの実施設設計などの予算は5400万円であるとの説明を受けた。引き続き調査を行うこととした。



補正予算 住宅リフォーム

給与削減可決

東日本大震災復興財源の確保に対し、国より各自治体へ給与減額措置を要請されたため、特別職の職員で常勤の者及び職員の給与を平均約4・3%を特

例期間（25年7月1日から26年3月31日）に減額する条例を可決した。これにより国家公務員給与と比較した^{※1}ラスパイレス指数は100%となる。

世羅大型公園建設への要望

賛成・反対

賛成討論

徳光 義昭

我が町が、生んだ世界的彫刻家の杭谷一東氏の作品を出身地に配置し、未来永劫に残すことが必要だ。どこにも通用する町のシンボルが、今はないと思う。他に真似ができない彫刻が杭谷氏の作品ではないかと思う。是非町に置いてほしい。位置は考える余地があるが、是非この作品を町から出すことのないようお願いし、賛成の討論とする。

反対討論

仲行 洋

杭谷氏の実績は認めるが、町内全般には認知度は低い。寺町公園を建設することにも賛否がある中、今必要なものか、費用をかけて設置するのは住民には理解が得られないので、反対討論とする。

賛成討論

福田 義人

杭谷氏の作品を、いつ、どこに設置するかを考えるのは今しかない。尾道松江線開通を控え、世羅町出身の杭谷氏の作品を世羅に集め、鑑賞目的の観光客確保にも繋がる。大切なのは、芸術はその人の人生そのものだ。杭谷氏の作品を、町の発展につなげたいという思いから寺町公園に設置を要望したものである。予算や場所は考える余地があるものの賛成討論とする。

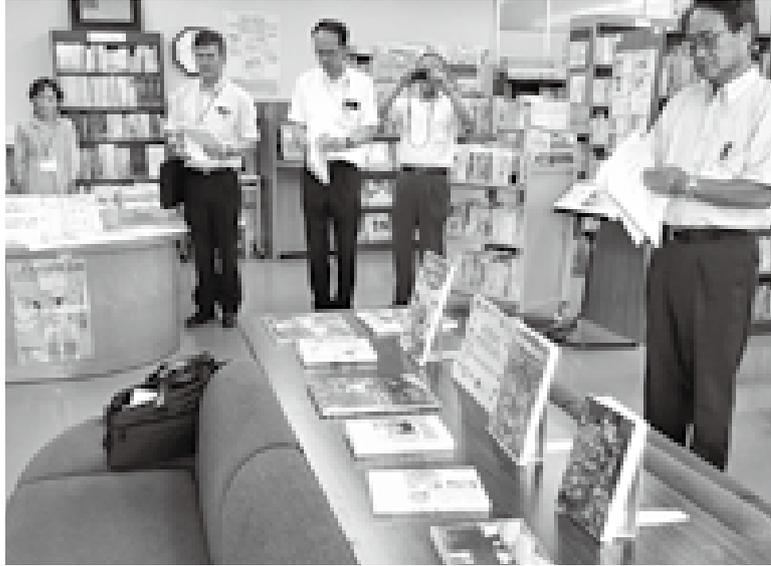
※1 ラスパイレス指数 = 国家公務員の給与水準を100とした場合の地方公務員の給与水準を指数で示したもの

報告します

委員会は 今

総務文教常任委員会

町内三図書館の現状



世羅図書館で説明を受ける委員

利用状況		蔵書数	
三館合計(24年)	34873人	甲山	26309冊
貸出冊数		世羅	24440冊
三館合計(24年)	62062冊	世羅西	23126冊

3館とも来館者は減少傾向にある。今後、予約リクエストサービスの充実を図り親しみやすい図書館を目指す方針との説明があった。

IT機器の活用とレベルアップは

課題と現状

町のホームページの更新が遅い。OA技術に個人差がある。OA機器の幅広い活用で事務の効率アップを図るべき。

対策

25年度に新しくホームページを更新する。職員にOA研修の機会を提供する。文書主体のホームページから写真やイラストを多く取り入れるなどの改善方針が報告された。

24年度町税等の 決算見込

前年度に比べ固定資産税、町県民税、国保税、軽自動車税などの収納率は微増となっている。これは、徴収事務の効率化が図られたことによる。

なお、24年度保育料、給食費はともに100%完納されていた。

第5期介護保険 決算見込み

第5期介護保険事業の1年目(24年度)は、認定者数および給付費ともに増加しており、対前年度比3%増である。今後も厳しい状況が予想されるので動向を注視する必要がある。

厚労省試算案は

介護保険事業の要支援1・2を町へ移管す

る方針を固めた。介護保健事業から要支援を切り離した場合の影響は、各自治体の実情に左右され、今後の動向を注視する必要がある。

国民健康保険 課税見込み

今年度の国民健康保険税は、前年度と同率課税の見込み。また、医療費の動向は、前年同期と比較した結果、若干下回っている。

健康対策は、健康福祉まつり・各種健診の受診率アップなど重点施策の説明を受けた。

厚労省試算案は

今後の国保運営を町から県に事務移管すると発表。事務移管した影響は、国保事務を共同処理した場合、人口規模の小さい自治体は現在より負担が増加する見込みである。今後の動向をチェックする必要がある。

公共下水道事業

24年度繰越事業の本管工事が進んでおり、現場で説明を受けた。

本年度も20%の予算カットがあり、1期工事の28年度完成は難しいようである。供用開始地区の加入を勧めているが、公共柵設置に

対し約50%の加入率である。本年度は、甲山本通り、甲山小学校付近を進める予定である。

野積み堆肥 その後の状況

業者は、市と県に対し裁判が係争中で、問題解決に至っていない。汚泥を出した関係市と民間の大口排出事業者と県の3者で協議する方向であるが、具体化していない。地元

対策協議会の要望に対して6市から回答を受け、5月に同協議会が開かれた。町は、引き続き解決に向けて取り組むとの説明があった。

町道の維持舗装は

町全域の町道延長は、804.7kmである。そのうち1:2級町道は、一〇〇%舗装済みであるが、その他の町道の15.2kmは未舗装で、総延長の約2割。町道の維持には、多額の予算が必要であり、「ふるさと道づくり事業」などを活用し舗装に努めていきたい。生活道については、今後検討する。町道改良は、多くの要望が出されており、改良

基準により進めたいと説明があった。

経営所得安定対策 並びに中山間直接 支払制度の状況は

24年度の交付金総額は、約3億4000万

円、うち米作に1570戸、約2億2000万円が支払われ、中山間地域直接支払は、2億4000万円、99の地域協定と21の個別協定に支払われた。25年度は、協定が2件、17.5haの増加を予定している。

八田原グリーンパークの管理状況は

管理人2人が交替で対応している。利用者は、年間約3000人で主な使用目的はキャンプである。指定期間は、27年3月までとなっているので、指定

管理方法について引き続き研究し、今年度中に方向性を出したい。



下水道推進工法工事現場

議会改革調査特別委員会

議会報告会並びに 意見交換会

議会報告会での意見や気づき

地域によっては、議会報告会で出された意見に対する回答が示されていないという意見があったが、議会は、自治センターにまとめて送付している。

議会での質問は、事前にしっかり調査し、発言すべきであるという意見があった。今後の議会改革調査特別委員会で認識を深めたい。



山福田自治センター



甲山自治センター

13自治センターで開催した議会報告会並びに意見交換会での意見を集約し、町に意見書を送付すると共に、回答が必要なものは自治センターを通じてお返す。

平成25年度 議会報告会・意見交換会

開催日	開催場所	主な意見や課題など	参加者数		
			男	女	計
5月23日	大見自治センター	<ul style="list-style-type: none"> ・町道戸張線（延長 1440 m）の舗装をしてほしい。 ・議会改革の取組は何を。一般質問のやり方を検討すべきである。 ・大規模墓地造成に不安を持っており、条例などで規制はできないか。 	20	1	21
	せら文化センター	<ul style="list-style-type: none"> ・どんな議員発議があったか。インフォメーションの陳情の件は。 ・尾松線開通で、山陰への日帰りが可能になる。対策をすべき。 ・世羅中央病院に脳外科など診療科目の充実を。 	10	2	12
5月24日	せらにしタウンセンター	<ul style="list-style-type: none"> ・寺町公園は、災害時の避難場所の施設整備が伴っていない。時期尚早。 ・大坪・福原地区は水不足。水道は引けないのか。 ・環境の日を設定し、全地域で美化活動を進めてほしい。 	3	1	4
	津久志自治センター	<ul style="list-style-type: none"> ・中学校 40 人以上は 2 クラスが原則。クラス編成で入学を拒否された。 ・寺町公園に杭谷氏の彫刻を整備するようであるが、費用対効果は。 ・黒淵のバイパス道路、買収部分だけでも早期に整備してほしい。 	14	3	17
	西大田自治センター	<ul style="list-style-type: none"> ・青水の県道の歩道整備を賀茂まで延長してほしい。 ・野積み堆肥の経過はどうか。進展はないのか。 ・浄化槽維持管理費の補助の実施は。空き家バンク活用は。 	17	3	20
5月27日	黒川自治センター	<ul style="list-style-type: none"> ・管理職の人事、重要事業の推進は適材適所。県との人事交流も視野に。 ・企業誘致にクリニックも関連させれば、子育て支援に効果がでるのでは。 ・世羅へ帰っても仕事がない。本気で企業誘致を考えているのか。 ・補助事業の情報、分かりやすく。職員の挨拶、言葉、対応を適切に。 	4	1	5
	山福田自治センター	<ul style="list-style-type: none"> ・議員の倫理、議会改革委員会で議論徹底しているのか。 ・不適正な事務処理の原因究明は、何が問題であったか。 ・元気な農村づくりには、水、イノシシ、鹿、倒木などの環境整備が必要だ。 	13	1	14
	津名自治センター	<ul style="list-style-type: none"> ・新規浄化槽助成事業の内容はどうか、いつから始まるか。 ・寺町公園の整備目的は何か。都市計画法に基づいているのか。 ・地域自主防災は、高齢化で動きが取れない、適切な指導を求む。 	2	2	4
5月30日	甲山自治センター	<ul style="list-style-type: none"> ・議員質問は事前の調査を十分に。意見交換は日常的にすべき。 ・公平な税の使い方は、上下水道への町の持ち出しはどのくらいか。 ・課の設置、短期間に変えるが、慎重に議論すべきではないか。 	14	3	17
	宇津戸自治センター	<ul style="list-style-type: none"> ・信宗線は、2 車線化も含め早期改良を要望する。 ・臭気問題は一向に改善しない、実効ある対策を。 ・寺町公園と夢公園の機能の違いは何か。 	13	3	16
5月31日	中央自治センター	<ul style="list-style-type: none"> ・せらひがし小学校駐車場の舗装が未実施だがどうなっているか。 ・農業は、高齢化で後継者不足だが、専業農家はどうなるのか。 ・インフォメーションセンターでは、活性化にならないと思うが。 	12	4	16
	伊尾自治センター	<ul style="list-style-type: none"> ・全町農村公園化は引き続き政策として残っているのか。 ・教育費の予算額は、統合後の小学校の状況は。 ・議会報告会で意見を出しているが、町へ届いていない。不要である。 	13	2	15
	東自治センター	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校統合で、漢字とひらがなの校名があるが、議論はなかったのか。 ・組に入っていない方の、広報などの配布物はどうしているか。 ・町外に人が出て行かないような、雇用対策や定住対策をすべきでは。 	5	3	8
合 計			140	29	169

(単位：人)

請願・陳情を審査しました

6月定例会において4件の陳情を審査し、採択3件、不採択1件を処理しました。

番号	件名	請願・陳情者	委員会の意見	審査結果
陳情8号	世羅大型公園 建設への要望	杭谷一東後援会 会長 藤原 紀男 氏	公費を投じて設置することに住民の賛同が得られない 公園内へのモニュメント設置に反対	不採択
陳情9号	町道早山線改良工事 について	早山組合 代表 藤井 順三 氏 他 19人	離合が不可能な状態で要望書の皆さんの意見どおり、早急に離合できる状況に改良すべき。	採択
陳情10号	町道もみの木法音寺下線 道路改良工事	文裁寺・報恩寺 住職 生田 秀昭 氏 他 80人	国宝重要文化財があり、観光道路にも供される目的があり要望に沿うべきである	採択
陳情11号	地域住民の生活環境を守るための条例の制定	大見振興協議会 会長 寺本 稔 氏	林地開発による住民の不安に対応するには、住民との合意が必要な条例を制定すべき。	採択

平成25年 第2回世羅町議会定例会

提出議案等の結果

○賛成 ●反対

議案番号	議案	採否	田谷	盛谷	岡田	米重	仲行	矢山	福田義	福田豪	下原	新原	生田	徳光	仙光
議案第51号	職員の給与の特例に関する条例の制定	可決	○	○	○	○	○	●	○	●	○	○	○	○	○
陳情第8号	大型公園建設への要望	不採択	●	○	○	●	●	●	○	●	○	●	○	○	●

全会一致で決定したもの

議案番号	議案	採否
議案第44号	町道路線の変更について	可決
議案第45号	町道路線の認定について	可決
議案第46号	税条例の一部を改正する条例	可決
議案第47号	固定資産税の課税免除に関する条例の一部を改正	可決
議案第48号	一般会計補正予算（第2号）	可決
議案第49号	上水道事業会計補正予算（第1号）	可決

議案番号	議案	採否
議案第50号	特別職の職員等で常勤の給与の特例に関する条例	可決
議案第52号	国民健康保険特別会計補正予算（第1号）	可決
陳情第9号	町道早山線改良工事	採択
陳情第10号	町道もみの木法音寺下線道路改良工事要望書	採択
陳情第11号	地域住民の生活環境を守るための条例の制定	採択
発議第4号	T P P交渉への参加に反対する意見書提出	可決

野積み堆肥今後は？

ありゃあどうなったかの～

昨年発足した堆肥の撤去を求める対策協議会会長末盛守氏から本年3月末、下水道事業者6市^{※1}に対し、撤去を求める要望書が提出された。

その回答は、廃棄物の占有権は処理業者にあるため、勝手に処理できない。撤去するには処理事業者が廃棄物の占有権を放棄する必要がある。6市が個別に撤去するには様々な課題があるため、広島県に対し撤去の代執行を要望するという内容であった。

町としては、県との連携を図りながら又助言もいただきながら地元対策協議会と足並みを揃えて、この問題に引き続き対応していきたい。

一方県は、排出事業者に排出責任を果たすことを求め、撤去実施に向けた対応を模索している。

地元としては継続して今後の動向を注視する必要がある。



野積み現場に水溜まりが……

※1 下水道事業者6市 = 広島市、福山市、尾道市、府中市、庄原市、三次市



町政の課題

ただ
13議員32問を質す

ページ	質問者	質問事項
11	下原 嘉雄 議員	1. 町の農業政策の今後について 2. "協働のまちづくり指針"について 3. 間伐材処理対策について
12	矢山 武 議員	1. T P P 参加に反対し、家族農業を守る対策を 2. 地場産業の振興と人口増対策を 3. 社会教育、家庭教育の充実で、どう地域を守るか
13	盛谷 光明 議員	1. 居住環境の向上や3世代同居支援策について 2. 公共工事の設計価格の適正化について 3. 尾道・松江全線開通前の観光P R作戦
14	福田 豪 議員	1. 再生可能エネルギーとは何か 2. 指定管理者制度と指定管理施設利用料のあり方
15	岡田 武士 議員	1. (仮称) インフォメーションセンター設置について 2. 世羅町の今後のまちづくりの計画は
16	福田 義人 議員	1. スピードアップとO Aの活用は 2. 尾道松江線全線開通に向けた取り組みは 3. 環境づくりの日の制定
17	田谷 幸奏 議員	1. 世羅町の将来展望(5年後の現実・10年後の想定)について 2. J R福塩線備後三川駅の利活用方策について 3. 災害に強いまちづくりについて
18	新原 浩 議員	1. 「新町建設計画」に基づき合併後の経過、現状、課題について 2. 快適で安全なまちづくりについて 3. 学校教育について
19	仲行 洋 議員	1. (仮称) インフォメーションセンターは町の活性化へつなげるのか 2. どうなった給与削減は
20	生田 智康 議員	1. (仮称) インフォメーションセンターのあり方について 2. 町役場職員の運転免許証のチェックはいかに
21	仙光 保喜 議員	1. 家庭ゴミの出し方・収集について
22	米重 典子 議員	1. 「買い物弱者」対策について 2. 男女共同参画行動計画(はんぶんこプラン)の事業内容について 3. 「マイ保育所登録事業」について
23	徳光 義昭 議員	1. 世羅町 空き家等の適正管理に関する条例の制定を 2. 平成の大合併の検証と課題

町の農業政策の今後は

答 経営力強化のための環境整備を



下原 嘉雄 議員

下原

農業就業人口は65歳以上77・6%の現状。5年10年後の農業展望はどうか。

町長

農業従事者の高齢化、担い手不足、収益性の低下が進む中、基幹産業である農業を持続可能にする経営体の育成と経営力強化のための環境整備が重要になる。「人・農地プラン」による担い手の明確化、集落法人の設立、農地集積化を進める。担い手が定まっていなない地域では、集落の合意による農地集積を進め、集落法人の設立や認定農業者の確保など、国や県の支援策を活用するとともに町独自の支援策も検討し充実させる。

協働のまちづくり指針

答 集会所班単位で対話の機会をもつ

下原

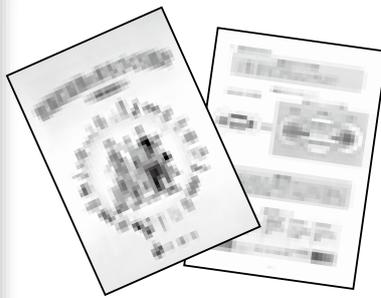
「協働のまちづくり指針」が策定されているが、自助・共助を進めるには、高齢化など限界を感じる地域が増加している。

協働とは、住民と行政が意識の共有を図るべきと思う。特に、高齢化した地域の実情に即した「協働」とは何か。

町長

「協働のまちづくり指針」を21年3月に策定した。人口減少・少子高齢化・集落維持など諸問題の解決のため重要な施策として取り組んでいく。まちづくり懇談会でも集会所単位・班単位で対話の機会をもっていたきたいとお願ひしている。

機会をもつ



下原

地域情報の共有策はどうか。指針策定から4年経過したが検証・確認はいかに。

企画課長

自治センターを核として情報の共有を進めているが、行政が発信している情報は熟知されるまで至っていない。検証・確認は実施していない。今後検証したい。

間伐処理対策の推進は

答 調査検討をすすめる

下原

全国で枯れ木・倒木を処理する「木の駅プロジェクト」が展開されている。森林整備と地域経済の活性化を目標とした事業で山をきれいにし、町が元気になり地球温暖化ストップにつながる。この事業の取り組みの考えは。

町長

関係機関と倒木の活用方法など含め調査検討をすすめていく。

TPP参加に反対し農業を守る対策を

答 体質の強化と経営力が課題である



矢山 武 議員

町長

TPP参加反対だけでなく、体質の強化が必要である。農地集積や経営能力の向上を図ることが必要であり、経営力の強化が課題である。農家が農業目標を定め、町も関係機関との連携を図っていく。

矢山

TPPは、原則輸入品の関税がゼロになり、農業や関連産業に大きな影響がある。特に米農家の経営は壊滅的になり、反対運動を強めるべきである。規模拡大では、対抗できないと考える。世羅の特性を生かした農業を進める対策にもっと力を入れ、地産地消を進め、家族農業を守るべきである。



TPP 反対で農業を守れ

地域を守る社会教育・家庭教育は

答 家庭や地域の

教育力向上を図る

矢山

社会教育の重要性が増し、学校との協力による家庭教育も一層の対応が必要である。農村の今後が心配される中、今後の対応強化と、モデル的な援助などを進めてはどうか。

矢山

尾道松江線の開通で、通過点とならないように一層の力を入れるべきである。商工業や地場産業の振興策を具体化し、希望の持てる町づくりを求める。

町長

高速道路を活かし、観光振興と合わせて、地場産業振興を図っていく。農業分野で10社の誘致をしたが、商工業の誘致は実現できていない。雇用と所得の向上として人口増対策の観点からも、地場産業の振興、企業誘致に取り組んでいく。

町長

集落活動のため、人材の育成に取り組んでゆく。核家族化が進む中、住宅リフォーム補助で三世代同居を支援する。

教育長

さまざまな世代に対応した学習機会を提供し、家庭・地域の教育力の向上を図っている。体験活動により地域と子どもをつなぐネットワークづくりに努めている。

公共工事の設計価格は適正か

答 適正に対応する

盛谷 建設業界では人件費や資材費の高騰、労務不足により入札不調が相次いでいる。国は労務単価前年比約15%増加を決定した。町の入札状況はどうか。

町長 本年度4月以降発注の土木工事は、県からの通達に基づく単価を使用している。建築工事は、24年度の労務単価の積算であるが、県からの特例措置に基づき適正に対応している。



盛谷 光明 議員

住宅リフォーム

支援の追加は

答 補助金の追加を

追加をしたい

盛谷 町内の居住環境の向上や、三世代同居のための住宅リフォーム政策が大変好評で予算額450万円以上の申請があった。追加予算は考えているか。

町長 5月の受付で、一般世帯26件、三世代同居世帯6件の申請があり、予算枠をこえたので対象者を抽選で決めた。補正予算を考えている。

世羅観光PR作戦は

答 チケット事業が終了後検討

盛谷 花めぐりせらめぐりチケット事業を後押しする形で、町の関係者の名刺の裏を利用し、観光PRをしたらどうか。

町長 チケット事業が終了した段階で検証を行い、町と観光協会が連携して検討する。



再生可能エネルギーとは何か

答 エネルギーの地産地消を目指す



福田 豪 議員

町長

「地域新エネルギービジョン」で、太陽光、太陽熱、バイオマス、水力を新エネルギーとして普及させる。エネルギーの地産地消による持続可能な地域づくりを目指す。
住民や事業者と連携する中で、情報の収集や発信に取り組みたい。

福田豪

電気エネルギーは、全てに優る万能エネルギー。また、再生可能エネルギーは、太陽光発電だけといったような思い込みに陥っているのではないかと。町は、再生可能エネルギーをどう定義し、普及発展させようとしているか。

指定管理者制度のあり方

答 運用方針を見直す

福田豪

指定管理者制度を導入し事業を進めているが、一部の施設では目的が定着していない。何に問題があり、どこを改善し、克服すべき課題は何か。

町長

民間事業者のノウハウを活用し、住民サービスの向上と設置目的の効果的な達成を目指して導入したが、様々な課題も見えてきた。現在、仕組みづくりを再検討し、管理の範囲や内容の見直しを検討している。
早い時期に新たな運用方針を確立し、実施できるよう準備を進めている。



八田原グリーンパーク

(仮称)インフォメーションセンターの設置は

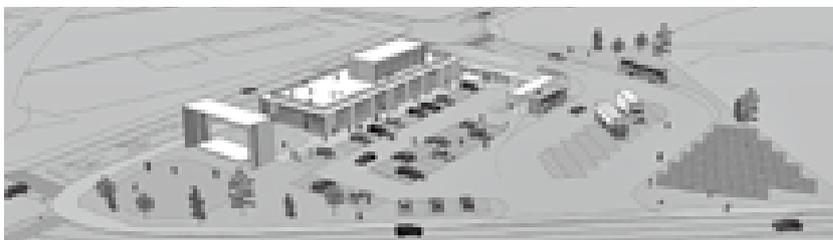
答 事業費5億6千万円と用地代



岡田 武士 議員

町長 概算事業費は5億6000万円の工事費のほか用地代・実設計費が必要になる。内訳は建設施設3億7600万円、敷地造成費1億7000万円、国道改良費1300万円を概算整備費用として計画している。その他駐車場舗装と側溝整備費などで2400万円、ソーラー整備費2000万円。用地代は、鑑定中でお答えできない。維持管理費は、人件費と施設維持費で年間2500万円を見込んでいる。

岡田 (仮称)インフォメーションセンターの必要性と経費及び設置後の維持管理費は。



(仮称) インフォメーションセンターの予想図

今後のまちづくり計画は

答 意見を聞きながら策定する

岡田 地元大型店「パオ」周辺のまちづくりを、今後どのように考えているか。

町長 「パオ」周辺を含めた土地利用に関する計画を、関係機関などの意見を聞きながら具体化していく。

岡田 雇用の場の創出とは。

町長 農業・商業・工業などを含めた意欲ある起業家に対する支援制度を創設し、農工商連携による新たな商品開発を進め、雇用の創出を図る。支援制度は、今後検討し具体化する。

岡田 地域ブランドの新商品とは

町長 商工会、飲食組合、食生活改善推進協議会、6次産業ネットワーク、脱温暖化プロジェクトせらの皆さんで構成された「せらマルシェ実行委員会」が設立された。「世羅の食」を町内外へPRし、町のファンをつくることを大きな目的とする。

事務のスピードアップと OAの活用は

答 各種事務はスピード感を持って



福田 義人 議員

福田義

役所に、スピードと
確実性が求められている
が、OAの活用によりス
ピードアップを図るべき
だ。

- ①住宅、物品発注、工事
発注、補助金申請。
- ②町の*1ブログを作成し
ては。
- ③研修でOA技術の均等
化を図っては。
- ④ホームページは、タイ
ムリーな更新が命。

町長

- ①年度当初の推進計
画により、早期着
手から完了まで進
捗管理を実施。
- ②ブログの発信は検
討しているが、研
究の余地がある。
- ③OA技術は個人差
がある。必要に応
じて研修の機会を
提供する。
- ④今年度ホームペー
ジを刷新し、町内
外にタイムリーな
情報を発信する。

総務課長

補助事業の申請
は、事務内容の説明
を徹底し時間短縮を
図る。

尾道松江道全線開通に 向けた取り組みは

答 情報発信で観光消費額のアップを

福田義

3月30日に松江道が開通し松江か
ら広島までつながった。「たたら壱
番地」「たかの」の道の駅は、いず
れも盛況だった。

インフォメーションだけでは人の
流れを変えることはできない。町内
施設の魅力アップが入込客を増や
す。世羅の物産販売機能を活用し雇
用拡大にもつながる「道の駅」が必
要だ。

町長

この(仮称)イ
ンフォメーション
センターには
①休憩機能②高
速バス停など完
備した交通結節
機能③情報発信
機能④緊急時の
避難機能がある。
詳細な施設内容
は、商業者や観
光事業者など関
係者の意見を聞
き具体化したい。

環境づくりの日の制定を

答 環境の日を知らせる

福田義

世羅は県内有数の観光地。毎年ゴール
デンウィークは観光客の車がいっぱい。
街がきれい・道がきれい・人が親切だと
魅力アップにつながる。現実には路肩の
草は伸び放題、山には倒木、では魅力も
半減。毎月一回「環境の日」を定めて、
町を綺麗にする取り組みをしては。

町長

6月の第
一日曜日を
「環境美化
の日」と定
めて、すで
に各地域で
取り組みを
行っている。
「環境
の日」を皆
さんにお知
らせし環境
保全に努め
てもらおう。



県道にマリーゴールドを植栽される皆さん

*1 ブログ=継続して更新される日記形式のホームページの総称。

備後三川駅の 利活用方策は

答 関係市と協働して
利用促進を



田谷 幸奏 議員



JR 三川駅

田谷 町内唯一のJR線
備後三川駅は、往
時に比べ衰退の一
途をたどってい
る。「福塩線対策協
議会」の活動状況、
町内各施設との連
携活用方法につい
て問う。

町長 協議会では、来年7月、開通一〇〇周年を迎えることから、各種記念行事を計画している。今年9月29日に臨時列車「うたごえ高原列車」の運行など記念行事を計画し、列車は、備後三川駅で途中下車後、町内の花観光農園を周遊する。今後この協議会を中心として福塩線利用促進の取り組みを図る予定。

町の将来展望は

答 時代に応じた
まちづくりに全力

田谷 合併後8年が経過した。
5年後、10年後の想定として、町の人口構成・財政規模の推計
および将来像を問う。

町長 町の人口構成は、7年後人口15168人、高齢化率41.5%
12年後人口14032人、高齢化率43%と少子高齢化が著しい
え、財政規模は5年後一般会計約103億円、10年後100億円
以下と現在より縮小すると推計する。町の将来像は、主産業の農
業は、担い手確保・農地の維持が重要である。一方新たな特産品
の開発や、都市住民のニーズに合う商品開発などに力を入れる。

防災対策の現状は

答 各種対策を計画し実施する

田谷 地域防災拠点
の自治センター
改修などの進捗
状況、小中学校
の児童生徒に対
する防災訓練な
どの状況は。

町長 自治センターは、今年度6施設を新築・改修。5施設の
耐震診断を実施。26年度中には、13自治センターすべてが
地域防災拠点施設として機能を備える。
現在、各学校が取り組んでいる防災訓練は、学年ごとに
火災や地震を想定した避難訓練を年3回実施している。小
学校では、5年生を対象に消防署の協力を得て防災教育を
行い、中学校では、「世羅町ハザードマップ」を使用して、
身近な危険箇所の確認を行っている。

新町建設計画に基づく現状と課題は

答 将来の議論をしっかりと進めていく



新原 浩 議員

町長 新町建設計画は、今後の財政見直しにもよるが、将来、町が良いものになるように議論をしっかりと進めていきたい。財政規模は約20%縮小したが、計画的かつ効果的な財政運営に努め、持続可能な町づくりに向けて取り組みを徹底し、新たに邁進していきたい。

新原 三町合併から8年が経過した。新しい町の方向性と基礎を築くため制定された新町建設計画に基づく合併後の現状と課題はどうか。

新原



快適で安全な町づくり

答 先進的な取り組みはすばらしい

新原 新町建設計画で公共交通体系の充実に努めるところがあるが、公共交通空白地域の解消については、住民による自主運行を検討すべき時期と考えるがどうか。



せらにしタウンセンター

町長 地域住民による自主運行は、地域において道路運送法及び道路運送法施行規則などの法律に則した無償運送事業の要綱などを整備し地方公共交通会議において協議し、デマンド交通や民間企業との関係を考慮したうえでの実施が望ましい。

教育現場の実情は

答 教職員の健康管理システム実施

教育長 町では健康管理システム実施要領を定め、教職員には疲労蓄積がないか日々観察、又必要により産業医による面接指導体調管理に努めている。ノー残業デーの取り組みを行い勤務時間の適正化を図り、子ども達がいきいきとした指導が受けられる環境を作っていく。

新原 教職員の勤務は夜遅くまで続いているように見受けられるが、長時間勤務により健康を害する者もあり、子どもたちの指導に影響をおよぼさないか。

新原



(仮称)インフォメーションセンターは町の活性化につながるか



仲行 洋 議員

答 活性化を確信している

町長

町の観光は、入込客数、消費額とも平成19年をピークに、客数は206万人から170万人に、消費額は23億円から20億円へと減少している。危機感を持った対応が求められる。

尾道松江線全線開通を好機ととらえ、観光客数の減少に歯止めをかけ、増加に転じるため(仮称)インフォメーションセンターを整備したい。

その施設を通じ町内観光事業者等と連携した観光振興の取り組みが町内地域の活性化につながるものと確信している。

仲行

尾道松江線全線開通を目前にし、世羅IC周辺に(仮称)インフォメーションセンターが計画されている。交通や情報発信とトイレ休憩がメインのイメージであるが、産業の振興、雇用の創出など経済の活性化につながるのか。



(仮称) インフォメーションセンターの予想図

仲行

前定例会で質問した国の求める給与削減は、県や他市町の動向を注視し判断することであったがどう判断されたか。

町長

県の状況は一部の市を除き、給与減額を7月1日からの実施に向け、検討準備されている。これまで本町では、財政の健全化と持続可能な町の姿を見据え、行政改革とあわせ独自の給与カットを行っているが、今回、国の趣旨に基づき特別職および職員の給与減額を本定例会へ提案する。

答 本定例会に

減額案を提示

どうなった
給与削減は

(仮称)インフォメーションセンターのあり方は

答 観光客増で町を元気にしたい



生田 智康 議員

生田

(仮称)インフォメーションセンターに7億円を投じるが、ごみ休憩・トイレ休憩だけでは、町には現金が入らない。一人でも多くの町民が同センターの恩恵を受けるべく方向性を出すべき。広くアイデアを募集せよ。冬期や平日など利用者の少ない時期はいかに。



にぎわっている 道の駅たかの

町長

広域観光推進実行委員会にワーキング部会を設け、各種団体と協議していく。建設費の内訳は、建築施設費 3億7600万円、敷地造成費 1億7000万円 国道改良費1300万円など。冬期の利用については冬期以外の利用とおむね変わらないものと想定している。

生田

(仮称)インフォメーションセンターにプラス「道の駅」が必要と考える、また大手化粧品会社と特産品花で香りのコラボ(連携)や町のおみやげ開発および販売(携帯ストラップなど)、健康づくりにノルディックウオークで史跡めぐりを提案するが。

町長

(仮称)インフォメーションセンタープラス「道の駅」は現在協議中である。香りで「まち興し」も考えられるが、機会があれば話を聞きたい。おみやげの開発は「せらマルシェ実行委員会」(商工会・飲食組合・食生活改善推進協議会・6次産業ネットワーク・脱温暖化プロジェクトせら)で新たな食の商品開発、販売を考えている。ノルディックウオークを取り入れた観光開発も取り入れたい。

生田

他の自治体の職員が1年9カ月間無免許運転をしていた。町のチェック体制はどうか。

町長

免許の種類、有効期限、自賠責保険・任意保険への加入状況も、すでに総務課で一括把握している。

職員の運転免許証のチェックは

答 定期的なチェックは必要だ



仙光 保喜 議員

家庭ゴミの出し方・収集は

答 正しい分別で収集日に
ゴミ出しを

仙光

最近、世羅西支所管内では、収集業者の変更に伴いゴミステーションに収集されないゴミが山積みになっているとの情報があり、町内の状況を見た。今でも旧町方式が続いている。

甲山地域では、ボランティアが不燃ゴミ置場などの管理をされている。世羅地域では、地域差はあるが山積みになっているステーションもあった。世羅西地域では、分別されていないものや収集日外に出されている。いずれにしてもゴミの処分は、地域任せ業者任せではなく町の責任で取り組む必要があるのでは。

町長

各戸に「家庭ゴミの分別と出し方」のパンフレットを配布し、まちづくりステップ講座で「ゴミ分別学習会」を開催し、減量化やリサイクル化を推進している。資源化ゴミは2週間に1回。不燃ゴミは月2回と2ヶ月に1回がある。回数が少ないところではゴミが残る状況があるので正しい分別をお願いしたい。高齢者の中にはステーションまで出せない人もあり、地域での助け合いも必要である。人口密集地域では、個別収集が残っているがステーション方式に取り組みたい。甲山地域の不燃ゴミ収集もステーション化する方向で検討したい。収集内容の案内板も新しいものにした。町内には420カ所のステーションがあり個々の調査は難しい。ステーション設置の補助制度もあり相談していただきたい。



指定日外に出されたゴミでいっぱいになったステーション



米重 典子 議員

買い物弱者対策は

答 関係団体と連携し住民ニーズに対応

米重

町の現状とニーズの把握は。何か対策をとっているのか。

米重

買い物弱者対策にもなる、せらまちタクシーの利用状況はどうか、見直しはされているか。

町長

要介護認定者の買い物物の頻度は、認定を受けていない高齢者の約4分の1。移動手段も、加齢とともに自力での移動が困難になっている。ヘルパーによる買い物支援、小売業者による移動販売や配達、JAの食材配達などがある。今後、商工会など関係団体と連携し、住民ニーズに対応したい。

町長

高齢者の交通手段として順調に利用者が伸びている、システムの見直しは行っていない。

今年度のはんぶんプランは

答 デートDV予防教育を

米重

はんぶんこプラン、今年度の事業計画は。

町長

推進委員の改選があり、事業所からも加わっていた。昨年度に引き続き、研修会や出前講座の開催に加え、提案書にあった^{※1}デートDV防止研修会実施に向けて世羅高校と協議をすすめている。

マイ保育所登録事業とは

答 育児不安解消を図る

米重

広報せら5月号掲載の「マイ保育所登録事業」とは。

町長

子育て家庭の育児不安解消を図ることを目的に実施。町立保育所に登録し、育児相談・子育て教室・一時預かりなどを利用できる。

米重

利用状況は。利用者からどのような要望がでているか。

子育て支援課長

24年度登録件数は137件、相談件数は631件。要望は^{※2}リトミック教室やベビーマッサージ教室、親子の関係性に効果的なミュージックケアの実施などがある。



ベビーマッサージ教室

※1 デートDV = 交際中の異性への暴力行為。
※2 リトミック = 音楽を使った幼児教育の手法。

空き家などの適正管理を

答 本年度中に条例を制定する



徳光 義昭 議員



空家バンクで1ターン

徳光

町内では、少子高齢化・人口減少する中で、適正に管理されていない空き家が年々増加し、周辺住民は何の対応も解決策もなく困っている。一人暮らしや高齢夫婦だけの世帯が家を離れると、管理が行き届かなくなり廃屋化していく。撤去には各種手続きが必要で、民法の規定もあり行政も無断に立ち入りできない。早期に条例制定が必要である。

町長

町民の安全・安心な暮らしの確保、空き家の有効活用「空き家バンク」による定住促進の観点からも、提案された内容も参考にし、本年度中に制定したい。

平成の大合併の検証と課題は

答 合併10年の節目に

新たな発想で取り組む

徳光

- ① 合併後8年が経過したが、その「効果と弊害」について
- ② 今後の人口減少社会に向けての対策は

町長

① 「効果」は中長期的視点での効率的財政運営、目的に応じた組織力の強化、合併特例法による国の財政支援がある。住民の声が行政に届きにくい。中心部と周辺部の格差やサービス水準が低下したという声もあり、「まちづくり懇談会」での意見を真摯に受け止め弊害をなくすよう努めたい。

② 合併時の人口2万人弱から現在1万8千人を割った。23年度からの社会減0の取り組みは、未来創造計画の実践で一定の成果を上げている。また農業後継者育成確保事業は現在20人が就農している。

医療費負担の軽減に繋がる施策、住みやすい環境づくり、子育てし易い町づくりなどを総合的に実施したい。

自治センターの機能強化は重要で、人材育成などに取り組んでいる。

職員は、積極的に地域にかかわり率先して地域課題を知り、解決策を考えるやり方でない人材は育たない。

提言の4番にある「私が担当、何でも任せて」の雰囲気づくりから始めたい。

元気な人紹介



人生に絵という柱があった

新制作協会会員
せら美術協会 会長 熊谷 英雄 さん

「絵は、色と形、構成と構図が大事。楽しく書きたい」と話される熊谷英雄さんは、伊尾小学校を最後に教員生活に終止符。その後、絵の友人から指導を手伝って欲しいと誘われた。あのまま家に閉じこもっていたら、人と話すことも少なかったのではと、当時を振り返られた。

現在は、「絵を描こう会」を大田自治センターで月一回テーマを決めて開催されている。

そんな時、教育長からタウンセンターに町民ギャラリーを開設し、町を代表する作品を展示したいと相談を受けたが、絵画、書、工芸、彫刻、写真などいろいろなジャンルがあり、枠を超えた交流も必要であることから美術協会の設立が不可欠と提案した。

こうして、せら美術協会が発足、今年1月タウンセンターに町民ギャラリーが誕生し、7月1日再度本格オープンした。今後は、常設展の展示と企画展が本格スタートしたので、協会会員を増やし、展示者の拡大が直近の課題だと話される。

また、ギャラリー開設後、タウンセンターで「絵の見方入門講座」を月一回実施。毎回30人を超える参加があり大好評。絵を描かないまでも見るのは好きという人も含め

裾野を広げたい。

時間がかかるが指導者の育成も必要だ。「先生にとって絵は何ですか」と尋ねると、しばし考え込まれ「続けていけば不満もある。続けているから次の課題が見える。一つの丘に登れば、次の丘が見えてくる。一度立ち止まったらなかなか前に進めない。続けているから出来ること」「指導するとともに、友人に恵まれた。私の人生に、絵という柱があつてよかつたと思つている」と結ばれた。

福田 義人



絵を描こう会にて

表紙紹介



5月26日に開催された世羅小学校の運動会。晴天の空のもと、元気な児童の演技がグラウンドいっぱい弾けた。保護者の方から、「いい写真撮つて」と声援。ブレッシャーもあるが、頑張る児童の姿をカメラに収めようと右に左に走り回る。第4コーナーをまわり、一生懸命に走る姿に感動した。

編集後記

今年の梅雨は、雨が少なく農作物に影響が出ると心配されましたが、やっとまとまった雨が降り安堵されたことではないでしょうか。まずは水分補給など、体調管理に気を付けましょう。

さて、今回5月23日、31日まで13地区の会場で議会報告意見交換会を開催し、私自身初めて4会場に出席しましたが、緊張感と不安感が素直な気持ちでした。各地域住民の皆様方に色々な質問ご意見を頂き、また厳しいご意見も頂きました。

今後この機会を大切に誠実かつ公正な職務の遂行に努めてまいりますと思っておりますので宜しくお願い致します。13地区の皆様ありがとうございました。

(新原 浩)

議会を傍聴してみませんか

次回の定例会は9月です

日程は無線放送でお知らせします。またケーブルテレビでも本会議の中継をしています。

議会広報広聴
調査特別委員会

委員長／下原 嘉雄
副委員長／福田 義人
委員／田谷 幸奏・岡田 武士
米重 典子・新原 浩

議員の寄附は罰則をもって禁止されています。議員に寄附を求めることも禁止されています。年賀状など（答礼のための自筆によるものを除く）を出すことも禁止されています。